

## 配当金のお支払いについて

支払期間経過後の配当金のお受け取り方法に関するお問い合わせは、右記のお問い合わせ先にお申し出ください。まだお受け取りいただいていない配当金につきましては、支払開始日から3年以内であれば配当金をお支払いいたします。

## 単元未満株式の買取・買増請求について

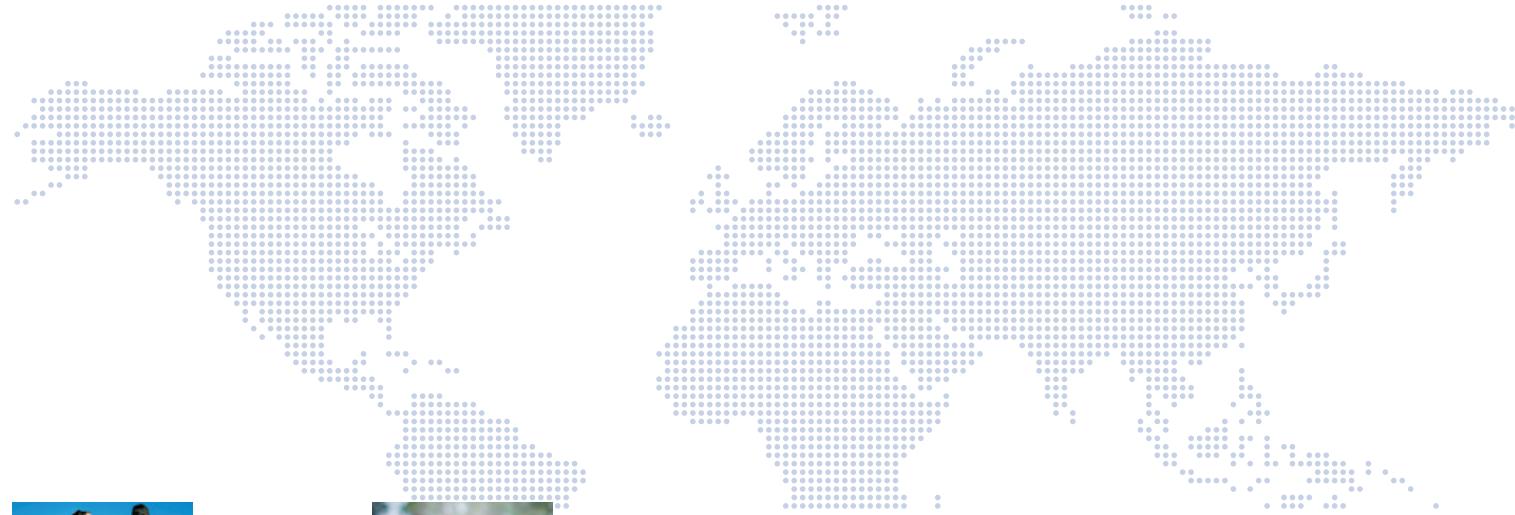
当社の株式は1単元が100株となっており、単元未満株式（1～99株）については、市場での売買はできませんが、当社に対して買取請求（売却）または100株（1単元）となるよう買増請求（購入）をすることができます。お手続きの方法および用紙のご請求は右記のお問い合わせ先にお申し出ください。

## 株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きは、①証券会社の口座に記録されている場合と、②特別口座に記録されている場合で異なりますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。

① 証券会社の口座に記録された株式		
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
単元未満株式の買取・買増請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更	口座を開設されている証券会社	
郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

② 特別口座に記録された株式		
お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
単元未満株式の買取・買増請求 特別口座から証券口座への振替請求 届出住所・姓名などのご変更 配当金の受領方法・振込先のご変更	特別口座の 管理機能 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
郵送物の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管	



## 第65期 年次報告書

2016年1月1日 ※ 2016年12月31日

# HIOKI

# To Our Shareholders

株主の皆様へ

「社会から必要とされる企業であり続けること」をめざし、ステークホルダーの皆様とともに、継続的に成長発展していく会社づくりに邁進します。

代表取締役社長 細谷 和俊  
Kazutoshi Hosoya



## Profile

1979年 4月 当社 入社  
1987年 10月 営業本部 厚木営業所長  
2005年 3月 執行役員ATE部長  
2006年 12月 執行役員技術本部開発部長  
2011年 2月 取締役執行役員開発部長  
2013年 1月 取締役専務執行役員開発部長  
2015年 5月 取締役専務執行役員  
2017年 1月 代表取締役社長 就任

## Top Interview

**新体制になりました。抱負および方向性をお聞かせください。**

2017年1月1日付で、前社長の町田正信から社長の任を引き継ぎました。これを機に、改めて当社の企業理念である「人間性の尊重」と「社会への貢献」に立ち返り、この理念を具現化するため、継続的に成長発展する会社を目指す指針を『8つの想い』にまとめました。これを年頭に全社員に表明しました。独自性ある技術・製品・しくみを創出し、お客様はじめステークホルダーの皆様とともにさらに価値を高め、信頼あふれる会社にしていこう、というものです。ありがたい姿に向かって、今を全力でやりきることを徹底し、継続的に成長発展していく会社の礎を築いていきたいと考えております。

**当社をとりまく事業環境についての認識をお聞かせください。**

グローバル化の進行により、世界がボーダレス化する中、英国の欧州連合離脱や米国のトランプ氏の大統領就任など、世界情勢は新たな局面を迎え、市況への影響は一層不透明な状況にあります。産業界においても以前よりはるかに変化が激しく、生存競争が激化する環境と認識しております。こうした中、明るい話題として国内では2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、日本の各種産業の活性化が期待されています。また、科学技術の世界でもAIおよびIoTの加速とともに自動車、ロボット、医療など様々な分野への新技術の展開が始まっており、我々を取り巻く環境が大きく変わろうとしています。こうした技術革新には、より精度の高い計測、データ分析が不可欠であり、まさに我々の技術が求められる環境ともいえます。不安定な世界情勢ではありますが、こうした変化を大きな

チャンスと捉え、独自性ある計測技術、サービスで対応していきたいと考えております。

**当社の強み、また課題はどこにあるとお考えですか。**

本社に開発、生産、販売・サービスのすべての機能を集約した三位一体経営により、お客様の要望を早期に製品化しご提供できることが強みの一つです。近年、新製品の発売数は年間30を超え、「世界初」の機能を持った独自性ある製品も生まれてきています。また、お客様の欲しいタイミングで出荷できるモノづくり体制、技術レベルの高い顧客密着型営業など、特長的なしくみを作り上げてきております。

課題は、グローバル化の進展をさらに加速し、HIOKIブランドの浸透をはかることと考えております。海外においても顧客密着型の体制で新たな価値をご提供するのために、販売網やサービス体制を早急に整え、グループ一体となったHIOKIブランドの浸透を進めてまいります。



世界初の金属非接触測定を実現  
クランプオンパワーロガーPW3365と電圧センサPW9020

## 中長期の事業方針、展望についてお聞かせください。

当社の主要市場である、自動車・電子部品、環境・新エネルギー、インフラ関連の業界に向け、自動試験装置、記録装置、電子測定器、現場測定器の4つの製品群を展開しております。今後もこれらの製品群をベースに、新しい柱となる製品の創出を目指し、商品力、販売力を強化してまいります。特に、自動車、エネルギー、電子デバイスといった成長市場では、計測の需要が一層高まることが予想されます。こうした市場に向けて、独自のセンシング技術をより高めるとともに、これまで培った計測技術を組み合わせ、お客様の進化にタイムリーに対応できる計測器を開発していきます。

長期的には「継続的に成長発展する会社」を目指し、当社の中期経営計画にあたる3か年計画を再設定しました。この目標を達成し、確実に利益を出せる会社にするために、新成長戦略、体質改善、人事制度といった全社プロジェクトを核に改革を進め、より筋肉質の企業体質に変革することを目指してまいります。

より変化の激しさが増す事業環境ではありますが、「チャレンジ&スピード」の中期重点方針を継続し、当社ならではの将来価値を先取りした新製品を世界の市場に向け発信していきます。



## 中期経営計画 (2017~2019年)



## 2017年12月期 連結業績予想

売上高	19,700 百万円	前期比 8.6%増
営業利益	2,175 百万円	前期比 29.7%増
経常利益	2,300 百万円	前期比 36.7%増
親会社株主に帰属する当期純利益	1,720 百万円	前期比 47.3%増

## 2016年の実績と2017年への取組、見通しについてお聞かせください。

2016年を振り返りますと、年初からの世界同時株安とその後の円高進行による経済の先行き不安から全般的に設備投資意欲が弱く、市況は当社にとって厳しい環境となりました。市場と製品群で見ますと、インフラ、設備メンテナンス等に使用される現場測定器や記録装置では、新製品効果もあり売上を伸ばすことができました。しかし2015年まで堅調に推移したスマートフォンに代表される電子部品・電子基板等の生産設備への投資が弱く、当社の生産ライン用電子測定器、自動試験装置の売上が伸び悩み、厳しい結果となりました。

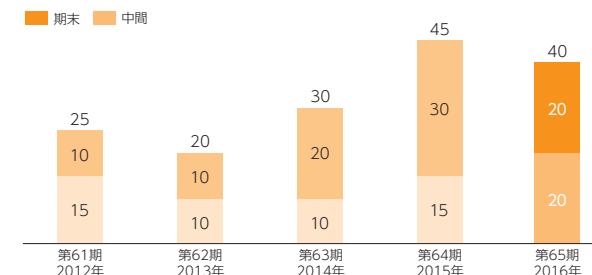
本年は、開発投資が続くEV、自動運転、バッテリーなど成長市場にも注力するとともに、海外展開では、欧州への新規拠点開設、米国・東南アジアにも拠点開設を進めるなど、国内に続き顧客密着営業を展開すべく販路を構築してまいります。商品力、販売力、モノづくり力を高め、売上高および生産性向上による経常利益率回復に取り組んでまいります。

## 利益還元方針など、株主の皆様へメッセージをお願いします。

当社は、適正な利益を確保し、株主様はもとより社会へ還元することを経営方針に定め、重要な課題として位置付けております。利益配分については、引き続き年間20円の配当を安定的利益還元のベースとし、連結配当性向30%を目標として、業績向上による一層の利益還元を実施していく方針です。

株主の皆様におかれましては、今後のHIOKIIにご期待いただくとともに、これからも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 1株当たりの配当金の推移 (単位：円)



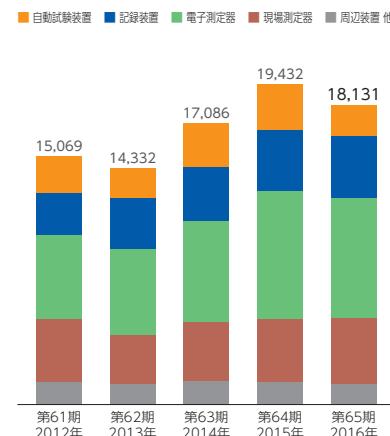
## 決算ハイライト

### ● 売上高

18,131 百万円 (前期比 6.7%減)

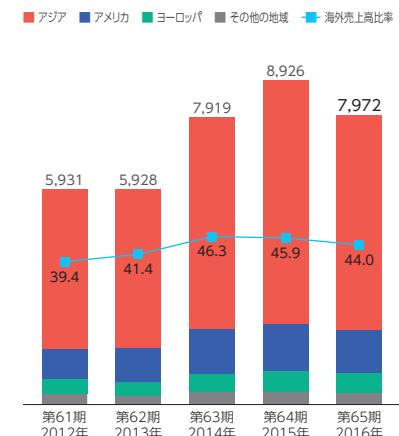
### 製品別売上高

(単位：百万円)



### 海外売上高

(単位：百万円、%)



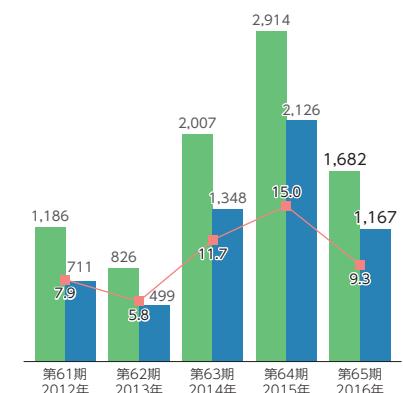
### ● 経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益 1,682 百万円 (前期比 42.3%減)

親会社株主に帰属する当期純利益

1,167 百万円 (前期比 45.1%減)

(単位：百万円、%)



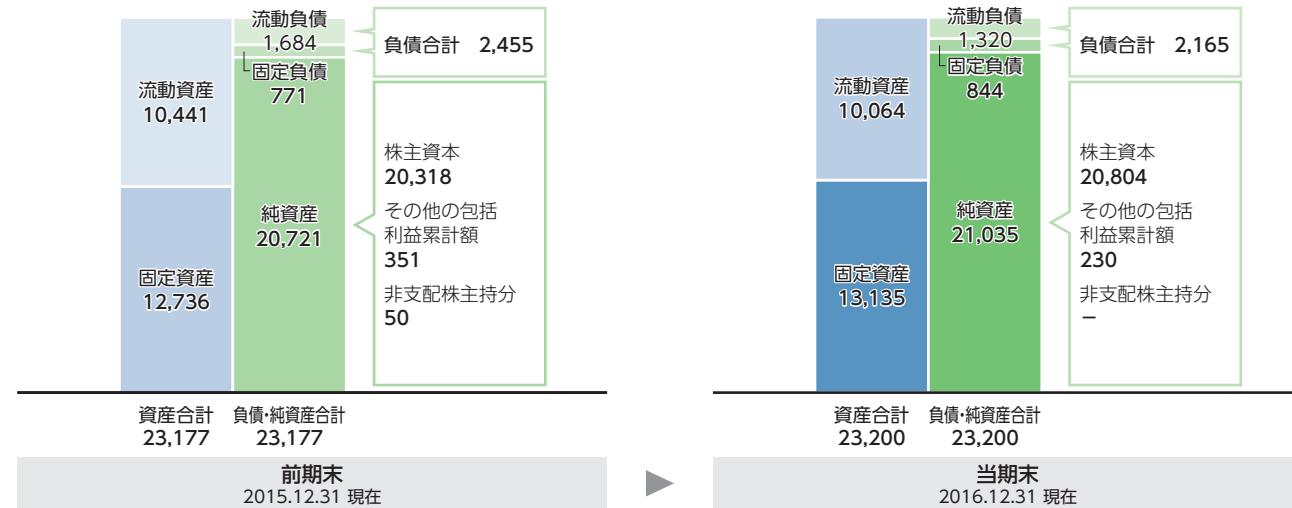
本年次報告書中に記載の金額および株式数は、表示単位未満は切捨て、比率は四捨五入により表示しております。

# Consolidated Financial Statements

## 連結財務諸表

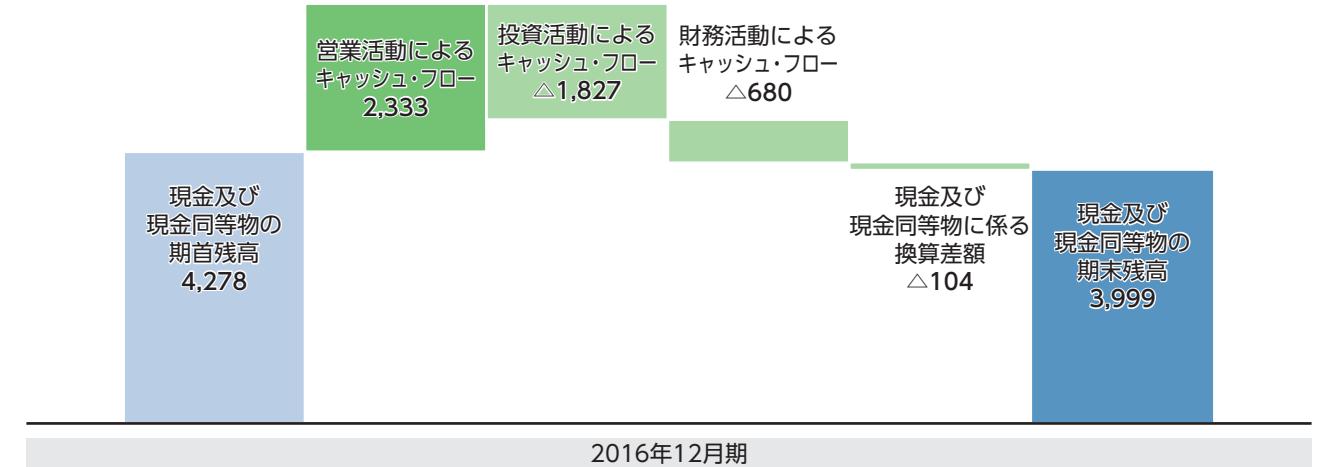
### 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



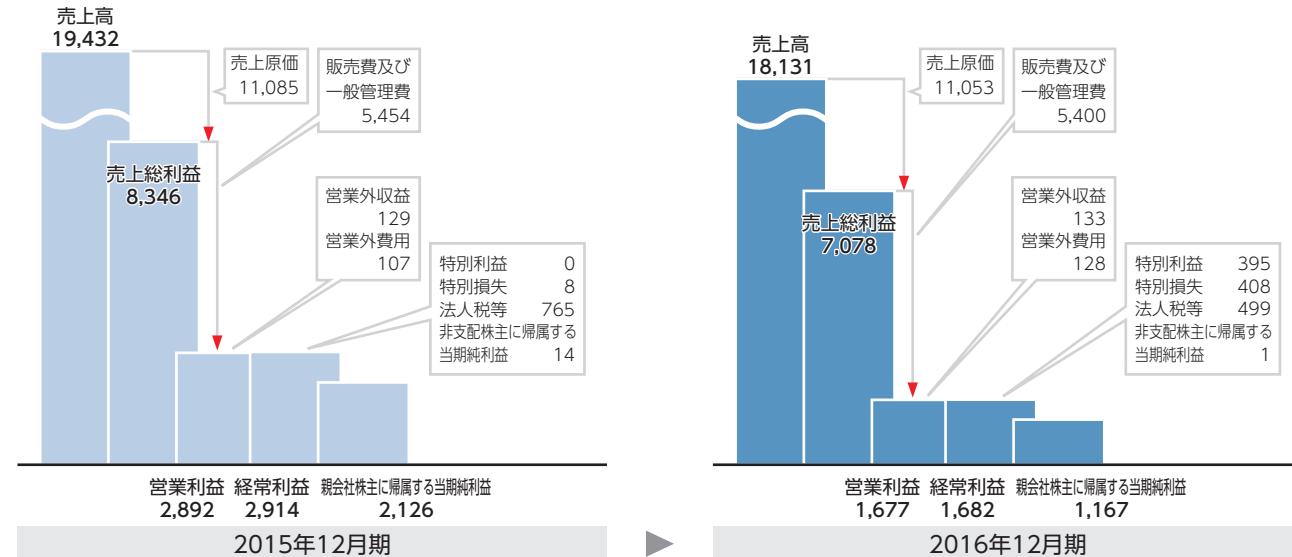
### 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



### 連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



### 財務のポイント

#### ● 資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末における総資産は、現金及び預金、売上債権が減少しましたが、有形固定資産が増加したため、前連結会計年度末と比較して23百万円増加し、232億円になりました。

負債は、退職給付に係る負債が増加しましたが、買掛金、未払法人税等および未払消費税等が減少したため、前連結会計年度末と比較して2億90百万円減少し、21億65百万円になりました。

純資産は、為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金が増加したため、前連結会計年度末と比較して3億13百万円増加し、210億35百万円になりました。

#### ● キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して2億79百万円減少し、39億99百万円になりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、23億33百万円の収入になりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益16億68百万円および減価償却費12億49百万円です。主な減少要因は、法人税等の支払額5億55百万円です。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、18億27百万円の支出になりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額等により、6億80百万円の支出になりました。

# Topics

トピックス

## 01 TOPICS 世界初！ワイヤレス給電評価試験を完全自動化。WPT評価システムTS2400を発売

ワイヤレス給電は、金属の接点や配線を用いることなく電力を伝送する技術です。今後、多くの家電やモバイル機器の充電、電気自動車の駐車中充電などの用途で利用が拡大することが期待されています。

2016年11月に発売したTS2400は、ワイヤレス給電の送電効率を自動で評価する世界初のシステムで、再現性や効率性を解決することができます。今年度、同システムの拡販を進めていきます。



WPT評価システムTS2400

## 02 TOPICS インドに子会社を設立

インドにHIOKI INDIA ENGINEERING PRIVATE LIMITEDを設立し、2016年12月19日にデリー近郊のグルガオンにて開所式を執り行いました。

同社はインド市場における販売支援とアフターサービスを主な事業としています。インド市場では修理のために計測器を日本-インド間で往復させることは、非常に煩雑なものとなります。そのため、インド市場で売上を伸ばしていくためには、現地での修理・サービス体制を整え、顧客利便性を高めることが必要であることから、このたび子会社を設立しました。



HIOKI INDIA ENGINEERING PRIVATE LIMITED 開所式

## 03 TOPICS 日経ニューオフィス賞「ニューオフィス推進賞（クリエイティブ・オフィス賞）」受賞

2015年に竣工した当社の研究棟「HIOKIイノベーションセンター」が、2016年度第29回日経ニューオフィス賞（主催：日本経済新聞社、一般社団法人ニューオフィス推進協会）にて「ニューオフィス推進賞（クリエイティブ・オフィス賞）」を受賞しました。

同センターでは、ワンプレートのワークプレイスに約270名の全技術者を集結。技術者同士の交流を促進させることで、高度でユニークな新製品開発を可能にする研究開発環境としました。こうした点が評価されたものと考えています。

今後も同センターを中心に、研究開発環境を整備し、競争力ある製品を創出していきます。

研究棟「HIOKIイノベーションセンター」



日経ニューオフィス賞

# Business Outline

事業領域

当社は、電気計測器の開発、生産、販売・サービスを一貫して行う研究開発型企业です。

当社の製品は、自動車、電子部品、環境・新エネルギーなどの産業分野で、最先端の研究開発から、生産ライン、電気工事の現場まで、幅広いお客様にご使用いただいております。

また、本社工場のあるHIOKIフォレストヒルズにすべての機能が集結し、開発、生産、販売・サービスが三位一体となり、お客様の様々な要望に迅速にお応えしています。

当社の製品は60か国以上に輸出され、海外売上高比率は約44%を占めており、さらなるグローバル化を進めてまいります。



HIOKIフォレストヒルズ（本社工場とHIOKIイノベーションセンター）

### 4つの製品群で研究開発から保守サービスまで対応

#### 自動試験装置：電子回路基板や部品内蔵基板の検査

電子回路基板や部品内蔵基板の良否を検査する装置です。量産品から多品種少量品まで幅広い検査装置を提供し、各種用途に利用されています。



#### 記録装置：電気機器の開発や設備の異常監視

電気信号の時間的な変化を記録・解析する装置です。自動車・家電の開発から設備機器の保全まで、幅広い用途に対応しています。



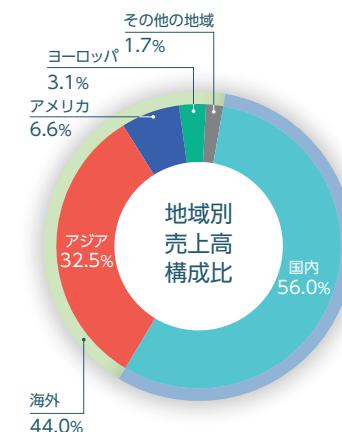
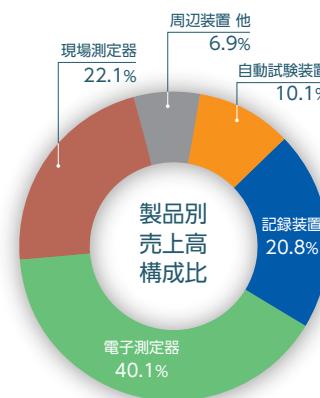
#### 電子測定器：電子部品の検査や省エネ監視

電子部品やデバイスの品質を評価・検査する計測器、および省エネや電源品質の評価に欠かせない各種電力計をラインナップしています。



#### 現場測定器：電気工事・設備の保守点検

電気工事や設備の保守点検、および温度・照度・騒音などの環境測定にも利用されています。



# Corporate Profile

会社概要/役員 (2017年2月24日現在)

## 会社概要

商号	日置電機株式会社
英文商号	HIOKI E. E. CORPORATION
創業	1935年(昭和10年)6月
設立	1952年(昭和27年)1月
商標	<b>HIOKI</b>
資本金	32億9,946万円
社員数	801名(2016年12月31日現在、HIOKIグループ全体)
事業内容	電気計測器の開発、生産、販売・サービス
本社・工場	長野県上田市小泉81
連結子会社	日置フォレストプラザ(株) HIOKI USA CORPORATION 日置(上海)商貿有限公司 HIOKI SINGAPORE PTE. LTD. HIOKI KOREA CO., LTD. HIOKI INDIA ENGINEERING PRIVATE LIMITED

## 取締役および監査役

代表取締役社長	細谷 和俊
取締役	岡澤 尊宏
取締役	柴山 芳計
取締役	水野 厚
社外取締役	中谷 朔三
社外取締役	田中 茂
常勤監査役	田口 公明
常勤監査役	竹内 繁弘
社外監査役	小川 直樹
社外監査役	弓場 法

## コーポレート・ガバナンス体制について

第65期定時株主総会の決議を受け、経営諮問委員会の委員が交代になり、新たに田中茂氏が委員となりました。

当社は、2016年4月1日に経営諮問委員会を設置、同委員会は指名委員会と報酬委員会に相当する機能を有しています。

同委員会では、経営の透明性と健全性を高めるため、社外取締役2名を含む各委員に対して重要な経営課題を諮問しています。企業経営に深い見識と豊かな経験を持つ各委員からの助言・提言を活かすことで、コーポレート・ガバナンス体制の一層の充実をはかり企業価値を向上させてまいります。

# Stock Information

株式の状況 (2016年12月31日現在)

## 株式の状況

発行可能株式総数	40,514,000株
発行済株式の総数	14,024,365株
株主数	16,453名

## 大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日置恒明	800	5.87
日置電機社員持株会	774	5.68
日置勇二	719	5.28
株式会社八十二銀行	666	4.89
日置妙子	633	4.65
明治安田生命保険相互会社	510	3.75
日置秀雄	402	2.95
日置 晶	248	1.82
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	221	1.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	218	1.60

(注) 当社は自己株式397千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しており、また、上記持株比率は自己株式を控除し、計算しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年2月
期末配当金受領 株主確定日	毎年12月31日 (中間配当金を支払う場合は、毎年6月30日)
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
お問い合わせ先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)
公告方法	日本経済新聞 なお、貸借対照表および損益計算書を当社のホームページ ( <a href="https://www.hioki.co.jp/jp/ir/">https://www.hioki.co.jp/jp/ir/</a> ) に掲載しておりますので、ご参照ください。
上場市場	東京証券取引所第一部(証券コード 6866)

## 株主優待制度のご案内

当社では、毎年6月30日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主の皆様、「信州りんご」を12月上旬にお送りする株主優待制度を実施しております。(2017年2月現在)  
住所を変更された場合は、裏表紙に記載の「株式に関するお手続きについて」をご覧のうえ、住所の変更手続きをお願いいたします。

### 確実にお届けするために

毎年6月下旬以降に住所を変更された場合は、株主名簿に記載のご住所は旧住所のままとなります。その場合、たいへんお手数ですが、10月末までに当社担当窓口(広報課)までご一報いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、優待品は複数の配送会社によってお送りしています(過去実績は日本郵便、ヤマト運輸)。優待品が確実に届くよう、お引越の際には、複数の配送会社に転送届をお出しいただければ幸いです。

※株主優待対象の株主確定日は6月30日ですが、株主確定日を含む4営業日前(権利付最終日)までに株式を保有いただく必要があります。

お問い合わせ窓口

当社 広報課

0268-28-0555

ir@hioki.co.jp

